

POWERSHIFT

上

パワーシフト

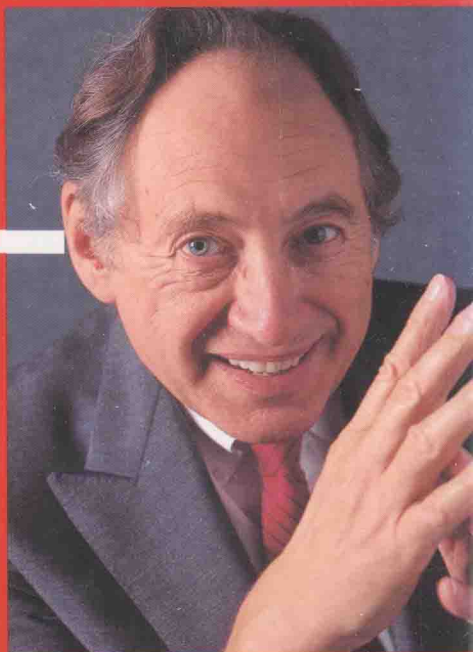
21世紀へと変容する知識と富と暴力

KNOWLEDGE, WEALTH,
AND VIOLENCE
AT THE EDGE
OF THE 21st CENTURY

アルビン・トフラー

ALVIN TOFFLER

徳山二郎 [訳]



POWERSHIFT

パワーシフト 上

KNOWLEDGE, WEALTH,
AND VIOLENCE
AT THE EDGE
OF THE 21st CENTURY

アルビン・トフラー

ALVIN TOFFLER

徳山二郎 訳

パワーシフト 上

21世紀へと変容する知識と富と暴力

1990年11月20日 1刷

1991年1月25日 4刷

著者 アルビン・トフラー

訳者 徳山二郎

発行人 三ツ井康

発行所 株式会社フジテレビ出版

〒162 東京都新宿区河田町 3-1

TEL 03-3353-1111 (代)

発売 株式会社扶桑社

〒162 東京都新宿区市谷台町 6

TEL 03-3226-8880 (代)

印刷・製本 凸版印刷株式会社

●万一、乱丁・落丁の場合はお取替え致します

Japanese edition ©1990 by FUJI TELEVISION

PUBLISHING INC. Printed in Japan

ISBN4-594-00653-1

定価はカバーに表示してあります

パワーシフト 上巻／目次

まえがき

第一部 力の持つ新しい意味

第一章 パワーシフトの時代

帝国の終焉 27

白衣の神 31

未来からの砲撃 33

斜陽貴族の

発生 35

第二章 筋力、金力、知力

良質の力 42

一〇〇万種類の推論 45

事実、嘘、そして真実 46

民主的の差 48

第二部 超象徴経済における日常

スーパーシンボリック・エコノミー

第三章 派手な時代を超えて

ビジネス戦士たち 58

デイル・カーネギーとフン族の大王アツチラ 63

コンサルタントの隠れた使命 66

第四章 暴力―ヤクザ的要素

血に染まったカネと雪のように白いカネ 70

政治囚と暴力団と 72

暴力の独占 75

隠れた銃口 76

力の軌道 79

第五章

富——モルガンからミルケンへ……そしてその後

X型の机

84

ミルケン対モルガン

86

門を開く

87

反撃

90

タンポンとカーレンタル

93

脱ウォール街時代

95

力のジグザグ

98

世界コントロール闘争の曙

100

第六章

知識——シンボルの富

頭脳の内部

104

ペーパーへの墓碑銘

107

デザイナー通貨と擬似通

貨

108

力の衰退

112

二十一世紀のマナー

114

第七章

物質尊重！

失業の新しい意味

119

頭脳労働領域

123

低度知識対高度知識

127

ロウブラウのイデオロギー

130

ハイブラウのイデオロギー

132

第八章

究極の代替物

情報の錬金術

140

知識対資本

144

第九章

勘定場での闘い

撃ち合いの背後¹⁵²

ミス・アメリカの芳香¹⁵³

特別報獎金戦法¹⁵⁵

スーパーマーケットを越えて¹⁵⁹

カネの二重払い¹⁶¹

インテリジ

エント・スーパーマーケット¹⁶⁴

「將軍たち」が直面する脅威¹⁶⁵

第十章

外部工作知能

バツハ、ベートーベン、そしてワング社¹⁶⁸

気まぐれ電話¹⁷⁰

神

秘性と秘密の白洋宮¹⁷¹

電子ハイウエー¹⁷³

自己認識ネットワー

ク¹⁷⁶ メッセージへの介入¹⁷⁸

第十一章

権力の実体

デニムを探し出す¹⁸⁷

出し抜かれた卸売業者¹⁸⁹

不動産と鉄道¹⁹¹

電子戦争への戦闘準備¹⁹²

顧客のつくる輪¹⁹⁴

ビジネス奇襲作戦¹⁹⁶

情報独占の出現?¹⁹⁸

第十二章

拡大する戦争

五〇〇〇億ドルの利害²⁰²

戦略的規格²⁰⁵

メインイベント²⁰⁹

コンピュータ民主主義²¹¹

規格のパラドックス²¹³

第十三章

経営思想警察

ビールとソーセージのメヌエツト 214

戦いのレベル 218

二大政党の選挙戦 220

戦略的後退 222

巨大

頭脳時代 225

情報の倫理 230

逆説の爆弾 232

第十四章

情報総力戦

錆びた線路とホテルの睦言 237

インとアウト 241

全社的スパイ活

動 244

七十五セントの誤差 245

第四部

ビジネス

——フレックス・フアーム柔軟構造の会社における権力

第十五章

整理棚システムの崩壊

官僚主義退治 251

無限大の整理棚 253

権力対理性 254

「キヤ

メレフアント」と熱いポテト 257

詰まったチャンネル 260

自由に

流れる知識 263

知は力なりと知る 270

第十六章

フレックス・フアーム柔軟構造の会社

型にはまった企業の終焉 277

ビジネスの非植民地化 279

第十七章

テーブル上の踊り 280
未来の家族会社 284
族長と企業人民委員

脈動組織 289
二面的組織 291
チェッカー盤組織 293
人民委員

組織 294
官僚Ⅱ男爵領組織 295

自由に創造的に発想する組織 297
自然発生チーム 298

権力の多様性 300
失われた万能薬 301
支配権の限界 305

第十八章

自主的従業員

心の障害を除く 310
無気力な農夫 312
新しい鎖 313
電子プロ

レタリアート 315
明日の労働規則 316
交換不能な人間 319
二

つの必要性 320
アクセスの要求 323

第十九章

権力モザイク

一枚岩からモザイクへ 330
肉切り包丁経営 332
内部の独占者 335

ベヘモスの腹の中 338
相互依存関係による富 340
モザイクにおけ

る権力 341
企業を越えて 344

コーダ

富創出の新しいシステム

上巻訳者あとがき

パワーシフト 下巻／目次

下巻まえがき——日本の読者へ

第五部 パワーシフトの政治学

第二十章 決定的な数十年

王朝と民主主義国家／レベルの移行／地球の政治学／少数民族の爆発／モザイク民主主義／中枢少数派

第二十一章 影の政党

二十一世紀省／世界の流行語／行動に備えて減量／高官の消滅／秘密チームと機密漏洩防止官

第二十二章 情報戦術

アルファルファの機密と誘導による漏洩／覆面発信／裏工作と裏ルート／二重ルート戦術／受信人側／メッセージ工作／内ゲバ戦士と有能職員

第二十三章 高次戦術

エスキモー人と頭脳作業／真実か力か／誘拐された指／投票箱の中のチェルノブイリ／数字をくれ／データ・ベース工作／幻の人たち

第二十四章 スパイ活動の市場

第二十五章

蝶と爆弾／クレムリンのリムジン／主な同業者／情報交換／台頭する巨人たち／軍用機と「要監視団体名簿」／ラインXとジェームズ・ボンド／きたるべき環境戦争／スパイ活動の民営化／「民間の眼」の新しい意味／核心にある矛盾

情報の協議事項
インフ・エイ・アジェンダ

第二十六章

知識に対する渴望／テロリストの爆弾とエイズ患者／新しいグローバル・フ
イードバック／『インディ・ジョーンズ』のコード番号
イメージを作る人々

第二十七章

マルチ・チャネル社会／選択の時代／ユーロビジョンの出現／グローバル
な売り込み／新しい帝王たち／グローバル・オピニオンの形成
破壊的メディア

第二十八章

テレビに映った不愉快な小男／メディアの三つの形態／メディアの融合／無
知の谷間／革命家たちのメディア戦略／チャイナ・シン드로ーム
「スクリーニー」世代

コード

ゴルフ人形／頹廢的な贅沢／同情を越えて／エレクトロニクス行動主義／情
報分業界／新しい同盟
新暗黒時代への憧れ

聖なる狂信／環境神権政治／新しい外国嫌い

第六部 世界的パワースイフト

第二十九章

世界的「知識要素」
Kファクター

ピラミッドと月ロケット／お下がりの経済学

第三十章

高速と緩慢

帰郷／戦略的不動産／原材料を超えて／高コストの低賃金労働力／超音速ジェット機／電子ギャップと活発な少数民族

第三十一章

未来と社会主義との衝突

破局点／前時代的人工頭脳機／所有権パラドックス／左巻きネジは、どれだけ必要か／歴史の層入れ

第三十二章

均衡としての力

死の民主化／資本の海／知識の新たな構築／片足で立つソ連

第三十三章

三脚——東京……ベルリン……ワシントン

日本の銃／経済ゴジラ／塾競争／新「東方戦略」／ヨーロッパの「ある朝起きてみると」／左翼主義から記号論へ／傷ついた巨人／減少する双子の赤字／ウ

ツディ・アレンの影響／パートナーの選択
グローバル・グラデエニエーターズ

第三十四章

地球規模の競争組織

宗教の復活／コカインの帝国／分散した「圧制者」／企業傭兵隊／国連プラス・

アルファ／新しいスタイルのグローバル組織

終章

自由、秩序、偶然

著者の基本的な考え方／謝辞／訳者あとがき

POWERSHIFT

パワーシフト 上

KNOWLEDGE, WEALTH,
AND VIOLENCE
AT THE EDGE
OF THE 21st CENTURY

アルビン・トフラー

ALVIN TOFFLER

徳山二郎 訳

**POWERSHIFT:
KNOWLEDGE, WEALTH, AND VIOLENCE
AT THE EDGE OF THE 21st CENTURY**

by Alvin Toffler

Copyright © 1990 by Alvin Toffler and Heidi Toffler.
Bantam Books, New York

This book is published in Japan by arrangement
through PSC, CO., Ltd. Tokyo

カレンへ 二人から愛をこめて

装 幀

亀海昌次

本文デザイン

八巻千穂

まえがき

驚くべき変化が我々を二十一世紀へと駆りたてている。『パワーシフト』は、二十五年にわたってその変化の意味を捉えようとした努力の集大成である。『未来の衝撃』に始まり『第三の波』へとひきつがれ、そしてここに完成した三部作の最終作である。

この三冊はいずれも独立の作品としても読めるのであるが、これをまとめると、知的に一貫した読みものとなる。全体の中心テーマは、社会がまったく新しい予想もなかった姿に急に変容するときに、人々に起きる変化である。『パワーシフト』では、これまでの分析をさらに推し進め、産業社会のパワー・システムにとって代わった新しいパワー・システムの出現に焦点を合わせている。

加速化する今日の変化を表現するのに、マスコミはまったく関連のない情報をうるさく我々に浴びせかけている。専門家は極めて専門的な研究論文の山に我々を埋めようとする。人気のある予測家たちも関連のないトレンドをいくつか示してはくれるが、相互関係とか、そのトレンドに逆行する諸勢力のモデルはみせてはくれない。そのため変化そのものが、無秩序で、時としては異常としかみえなくなる。

しかし今日の変化は、我々がよく思いがちなように無秩序でもなければでたらめでもない。この